

I 鳥取県経済成長戦略のこれまで

～何を成し、何が課題として残されているのか～

これまでの「鳥取県経済成長戦略」は、リーマンショック以降低迷が続く平成22年に策定し、県経済の持続可能な成長に向け、10年間で県内総生産（実質GDP）プラス700億円を目標に、その時々々の経済情勢の変化を踏まえ、2度の改訂を経ながら推進してきました。

大手製造業の再編等の中、戦略的企業誘致や県内企業の経営革新支援、インバウンド誘客、バイオ関連産業など新たな産業の萌芽に向けた取組などを通じ、経済・雇用指標ともに回復基調に転じ、目標達成に向けて順調に推移してきたところです。

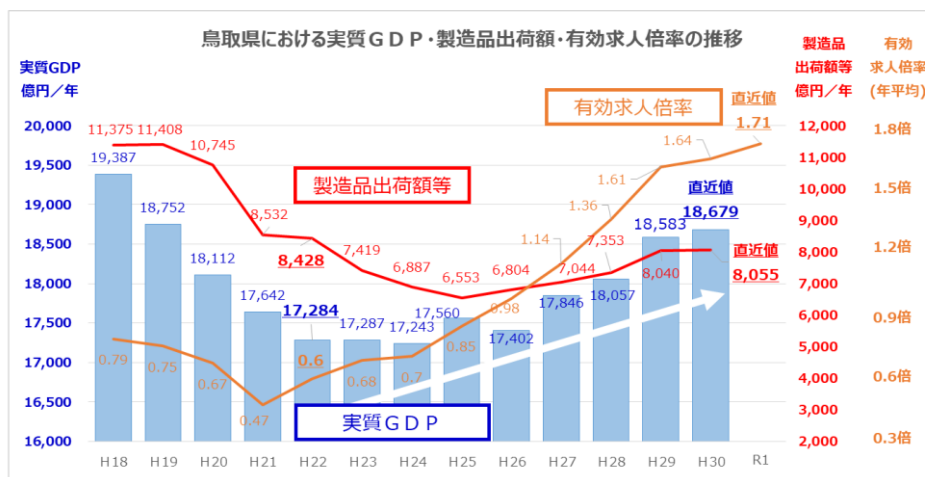
このような中、各種取組の成果も相まって、本県基幹産業でもある製造業は従来からの基幹分野「電子部品・デバイス」「電気機械」に加え、豊かな自然資源を背景にした「食品」や成長産業である「自動車」「医療機器」「航空機」分野等が成長し、製造業における多軸型の産業構造が形成されつつあります。さらに、非製造業を含め、シェア10%程度の産業が複数存在するなど、経済・社会情勢の変動にしなやかに対応できる産業構造へと変遷を遂げてきました。

なお、第4次産業革命の実装に向けた支援体制の構築や成長分野の専門人材育成プロジェクトなど次世代成長分野に対応するための取組にも着手する一方で、県内企業のデジタル化（IT人材の不足）、雇用のミスマッチ、経営層の高齢化、全国水準と乖離が大きい労働生産性の向上など課題も残されています。

更に、令和2年1月以降続く新型コロナウイルス感染症の影響拡大は、国内外経済・雇用情勢に甚大な影響を与えており、右肩上がりの成長曲線を描いてきた各種経済・雇用指標も、今後大きく下振れする可能性があります。

2010(H22～H32) 鳥取県経済成長戦略 ⇒策定目的：『一人あたりの県民所得向上』『新規雇用創出』 目標数値：実質GDP+700億円(H22比)
2013(H25～H32) 鳥取県経済再生成長戦略 ⇒生産ピラミッドが崩壊した県内製造業の再生を図るために改訂
2018(H30～H32) 鳥取県経済成長創造戦略 ⇒新たな成長創造に向け、分野横断的に取り組むテーマを設定

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
鳥取県経済成長戦略策定 ※J-T米子工場の閉鎖											
雇用創出1万人プロジェクト開始 ※鳥取三洋電機の再編											
とっとりバイオフロンティア開設											
県版経営革新支援制度創設 ※日立金属鳥取工場の再編											
鳥取県経済再生成長戦略に改定											
東南アジアビューロー開設											
※消費税引き上げ(5%↓8%)											
未来人材育成基金による支援開始 正規雇用1万人チャレンジ開始											
成長分野の誘致企業の操業開始 (自動車・航空機・医療機器)											
とっとりリーディング推進ラボ設立											
鳥取県立ハローワーク 全県展開 とっとり働き方改革支援センター開設 鳥取県経済成長創造戦略の策定											
※消費税引き上げ(8%↓10%)											
鳥取県産業成長心援補助金創設											
※新型コロナウイルス感染症の 国内外での感染拡大											



1. 県内企業の成長応援と戦略的な企業誘致

①戦略的企業誘致の展開

企業立地関連補助金や雇用奨励金制度等を通じて10年間で85社の県外企業誘致が実現しました。自動車・医療機器・航空機の成長3分野をはじめ、事務系センター、「まんが」や「食」など本県の特徴に関連したコンテンツ産業や食品製造業の企業誘致のほか、中山間地域において、小規模ながら将来性のある企業の事務所(里山オフィス)や研究開発拠点(小規模ラボ等)の開設支援に取り組んできました。

②県内企業の新増設に対する支援強化

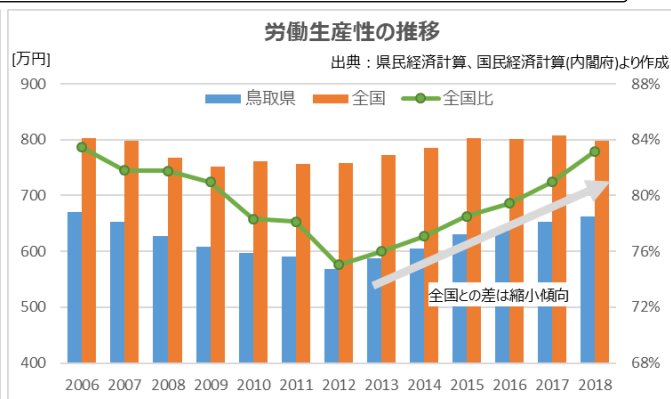
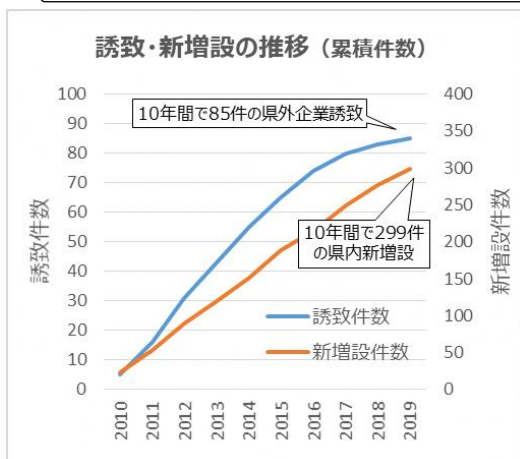
県内企業に対する設備投資支援を通じ、10年間で300件に迫る県内企業が新増設に取り組むとともに、競争力ある独自技術を活用し市場獲得を目指す企業への積極的支援のほか、地域経済を牽引する中核的な企業の成長拡大に向け、支援を実施してきました。

③県版経営革新支援制度の創設・推進

平成24年度に県独自の経営革新支援制度を創設し、県内事業者の新たなチャレンジによる売上拡大や生産性向上などによる経営革新を支援(経営革新認定件数:1,904件(平成24年~令和元年))してきました。また、令和元年7月には、外部環境の変化等を踏まえ、企業の生産性向上・働き方改革・技術革新等への挑戦を原動力に、本県経済の発展を牽引するため、企業の成長や事業展開の段階に応じた「鳥取県産業成長応援補助金」を創設し、支援強化を図っています。

残された課題

- 製造品出荷額は着実に増加。直近値で大手企業の再編等の影響が出る以前の平成22年水準まで回復目前。【H22:8,428億円→H25:6,553億円→H30:8,055億円】
- 有効求人倍率もH27年頃から1倍台を回復。その後も上昇し、業種によっては人手不足の課題も顕在化。【H21:0.45→H25:0.85→R元:1.71】
※令和2年5月以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり低下
- 装置型産業を主体とした企業立地は、製造品出荷額の押し上げに大きく寄与したが、今後の成長が見込まれるソフトウェア関連の企業立地促進に際し、IT人材等の専門人材不足が一つの課題となっている。
- 県版経営革新支援制度による取組等により、本県の労働生産性は向上し、対全国比で見ても改善傾向にあるものの、その差は小さくなく、さらなる経営革新を進めていく必要がある。



2. 新たな産業の萌芽と需要獲得の強化

①とっとりバイオフィロンティアを拠点としたバイオ関連産業の推進

平成23年に開設した産学官共同研究拠点「とっとりバイオフィロンティア」を中心に大学発ベンチャー企業等によるバイオ関連産業の研究開発や事業化支援により、医薬品開発に向けた研究が進展しています。また、平成30年には技術実証と創薬事業化を目指した研究開発実証拠点「とっとり創薬実証センター」が開設され、創薬実用化に向けた大手製薬会社との共同研究が進展しつつあるなど、バイオ関連産業の集積は着実に進んでいます。

②成長分野への事業転換支援

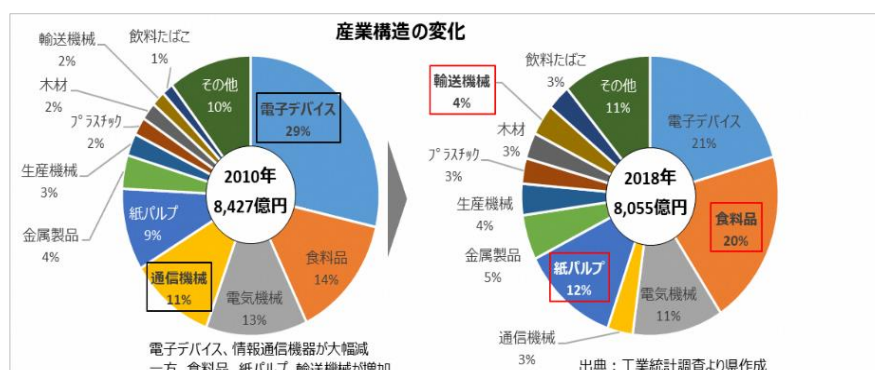
戦略的推進分野でもある、医療機器、次世代自動車等に関し、公益財団法人鳥取県産業振興機構（以下「産業振興機構」という。）において研究会・支援チームを設置したほか、地方独立行政法人鳥取県産業技術センター（以下「産業技術センター」という。）とも連携の上、技術開発・製品化・販路開拓等の支援を展開し、多くの企業が成長分野への事業転換を遂げてきました。

③グローバル化の進展

積極的な国際航空路線の誘致やプロモーションに加え、受入環境整備支援や体験型プログラムの開発支援、DMO（観光地域づくり法人）設立など、官民一体なった取組の展開を通じて県内のインバウンド需要は着実に増加してきました。また、とっとり国際ビジネスセンター（産業振興機構）、独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）等の貿易支援機関や、ロシア及びタイの現地拠点等によるビジネスマッチングのサポートなどにより、食品や機械関連等、海外展開に取り組む県内企業は着実に増加してきました。

残された課題

- 県内製造業は、電気機械関連産業への一極集中から、自動車分野への企業参加が大きく進むなど、多軸型の産業構造に転換しつつあるが、県内産業の持続的成長に向け、世界的に進む脱炭素化の動向などを踏まえ、EVをはじめとしたグリーン産業分野の取込みが求められる。
- バイオ関連産業に関し、創薬支援ツールの製品化やバイオ関連企業との業務提携、大手商社による出資など事業化に向けた動きが活発化。また、県内バイオベンチャー企業による雇用も拡大しつつあるが、今後、さらなる事業展開の裾野拡大や、具体的な創薬上市の動きが望まれる。
- 医療機器参入企業数が74社（令和元年度末）にのぼるなど、県内企業の成長分野進出が進みつつあるが、デジタル医療や感染症関連など、新たなメディカル需要への対応も今後必要。
- 海外展開を目指す県内企業が増加した（国際取引実績がある企業数（H26）72社⇒（R元）111社（鳥取県調査））ほか、訪日外国人宿泊者数が8年間で6倍に増加するなど、グローバル化による成長を取り込んできたものの、直近ではコロナ禍の影響を強く受けており、感染症の状況を踏まえながら、今後の立て直しを図っていくことが必要。



3. 第4次産業革命への対応

①先端技術実装に向けた体制構築

平成29年度に設立した「とっとりIoT推進ラボ」には98企業・団体が参画し（令和2年末時点）、製造業・エネルギー・農業など様々な分野における先端技術の開発・実証に向けた取組が進みつつあります。また、令和2年1月にはSociety 5.0社会の実現に向け、官民連携組織「鳥取県Society 5.0推進本部」を設置したところであり、先端技術活用による社会システム改革に向けた体制が整えられたところです。

②学生から企業内人材まで、専門人材の育成

国立大学法人鳥取大学（以下「鳥取大学」という。）を拠点にした産学官連携による企業向け人材育成プログラムの実行のほか、県内学術機関と連携した小・中・高校毎の教材開発などが進みつつあります。

また、業界団体と連携した在職者研修、戦略産業雇用創造プロジェクトなどによる求職者向けICT人材育成事業や、ものづくり現場の高度熟練技能とAI・IoT活用の知識・スキルを兼ね備える人材育成を目指したキャリアアップ体系「MONOZUKURIEキスパート」の構築など、企業内専門人材育成に向けた取組も進みつつあります。

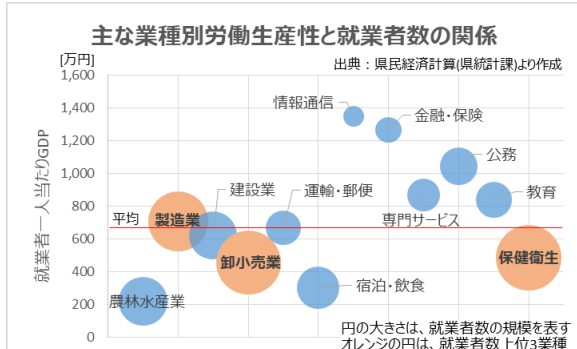
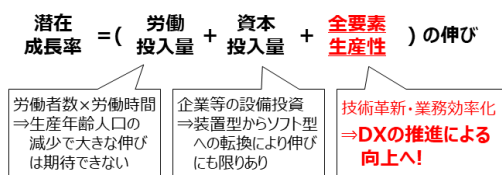
③各分野における実装の進展

産業技術センターは令和元年12月に「AI・IoTロボット実装支援拠点（とっとりロボットハブ）」を開設し、製造工程を自動化・ロボット化する際の検証やロボットSier（ロボットシステムインテグレーター、以下「Sier」という。）育成など、県内企業向けの技術支援・人材育成に着手しました。また、産業振興機構は先端技術導入を牽引する企業内中核人材等の育成に向けた「AI・IoT専門家育成スクール」を開設するなど、支援機関による県内企業の先端技術実装支援体制が強化されつつあります。

残された課題

- 「とっとりIoT推進ラボ」への参画企業数が年々増加(H29:78団体⇒R2:98団体)するなど、県内企業の先端技術活用に対する意識が高まりつつあるが、さらなる実装促進とスマート工場や先進的なAI・IoTサービスなどのモデルとなる取組創出により、本県の潜在成長率を高めていくことが必要。
- 「とっとりロボットハブ」や「MONOZUKURIEキスパート」による人材育成について実践的な企業内人材の育成や専門高校などと連携した体系的な人材育成など、さらなる進化が求められる。
- 各種取組の継続により、県内産業の生産性は向上しつつあるが、県内サービス業においては、他産業に比べ大きく下回っているのが現状であり、ITを活用する側の人材育成をはじめとした、強力なデジタル化の推進などによる生産性向上が求められる。
- 県内産業活動のDX推進には、内部の人材育成だけでは限界もあり、オープンイノベーションや専門的技術・ノウハウを有する副業・兼業人材など効果的に活用していく視点も重要。

潜在成長率の構成要素



4. 人材育成と雇用創造

①正規雇用創出の取組

リーマンショックや大手企業再編等によって失われた雇用の場の創出に向けて、雇用創造1万人プロジェクト（平成23年～26年）や正規雇用1万人チャレンジ（平成27年～30年）などに取り組むとともに、積極的な企業誘致等を通じて新たな雇用を創造してきました。

②成長分野を担う専門人材の育成

国の職業能力開発総合大学校（以下「職業大」という。）の一部機能移転実現によって、平成30年4月に開所した高度訓練開発室を拠点として、県内企業との協働による成長3分野「自動車」「医療機器」「航空機」分野の職業訓練コース・教材開発に着手しています。また、成長分野の一つ観光産業の人材育成強化に向け、令和元年度に鳥取県産業人材育成センター米子校に観光人材養成科を開設しました。さらに、「戦略産業雇用創造プロジェクト（平成25年～30年）」による製造業やICT産業の技術人材育成、「地域活性化雇用創造プロジェクト（平成29年～）」による観光・食・健康（令和2年4月から自動車・情報分野を追加）など成長力と雇用吸収力の高い産業分野での企業経営力強化と正規雇用拡大を支援してきました。

③若年者・女性・シニア等の就労機会拡大

産業界と連携した鳥取県未来人材育成奨学金（奨学金返還助成）の拡充や、学生・企業のニーズに応じたオーダーメイド型インターンシップの導入などを通じ、県内外の若者の県内就職を積極的に支援してきました。また、平成30年度に全県展開した県立ハローワークによる就職相談から職業紹介までの一貫した支援、女性やシニア層の相談コーナーの設置を通じ、多様な人材と企業の効果的なマッチングを展開してきました。さらに、平成30年度には「とっとり働き方改革支援センター」を開設し、県内企業の「働きやすい職場づくり」と「生産性向上」を両輪とした「働き方改革」の具体的な取組支援を推進しています。

残された課題

- 雇用創造1万人プロジェクト（雇用創出12,630人）、正規雇用1万人チャレンジ（正規雇用創出13,382人）による雇用創造などによって、有効求人倍率も平成27年頃を契機として1倍台（R元:1.71）を回復。また、専門技術者の雇用創出数が400人を超えるなど成果は出つつあるものの、高度技能・技術人材の育成・確保ニーズはなお高い状況にある。
- なお、少子高齢化による全国的な人手不足が顕著になるとともに、県内において求職・求人職種における雇用のミスマッチが恒常的となっている。
- さらに、女性の有業率は増加しM字カーブは解消されつつあるものの、正規雇用率は20代後半をピークに出産期以降に低下し続けるL字カーブが見られるなど、多様な人材の多様な働き方の一層の促進など課題が残されている。

